

情報関係のまとめ

		ご指摘	回答
1	新館図書室	遠隔地の会員のために図書貸し出しの着払いサービス・コピーサービスなどもあれば便利ではないか。	現状では人員の確保などの問題で、そこまでの対応は出来ません。ニーズの高い書籍についてはできるだけ電子化することによって、遠隔地の会員にも閲覧できるよう図りたいと考えております。
2		図書室に関するおもしろいニュースがあれば、会員メールなどで配信して欲しい。	これまで、図書室に関する会員への案内が不足していたことは認識しております。今後実施していきたいと考えております。
3		専門書以外にも地盤についての面白い本がたくさんあるので会員に購入する本の要望を聞いてはどうか。	地盤工学会の図書室の基本方針として、スペースの問題から、他の図書館などで閲覧可能な書籍については原則的には取り扱わない方針としております。地盤工学会の関連書籍を中心とした蔵書構成となっております。但し、希少価値のあるものと認められる書籍については検討したいと思いますので、希望を HP などでご相談下さい。
		老朽化した土木施設の改修、改築などの際に、建設当時の設計基準や設計・施工関係の資料があると参考になると思う。	同上
4		購入している海外雑誌の PDF が取得できるようにして欲しい。	PDF 化については著作権の問題もあり、地盤工学会では学会が出版した書物に限っています。従いまして、海外雑誌については今のところは PDF 化の予定はありません。
5		できれば、特定の問題に関する関係文書の紹介なども取り入れて欲しい。	将来的には望ましい方向ではありますが、現在では対応できません。
7		入館時にノートに記帳していますが、そのデータをどのように使おうと考えているのでしょうか？ G-CPD カードで受付してはどうでしょうか？	入館時の記帳は、図書室への会員以外の方などの無断出入りをチェックするためです。また、カードによる入退室システムも検討しましたが、本図書室の規模ではコスト負担が大きすぎるため、現在のような運用方法としております。
8	電子図書室	蔵書、利用者、新刊の入荷などの数値データを公表し、その向上に数値目標を設定すべきである。	今後検討いたします。
9		検索・閲覧機能の充実を図り、利便性を拡大して欲しい。	できるだけ、充実を図るべく努力をしておりますが、学会財政上の問題などから、PDF 化作業に関する予算が十分に取れていないのも現状です。概ね、5 年程度で主な学会発行書籍の PDF 化を完了する予定です。
10		検索結果の画面表示が横に長くてタイトルを見ながらスクロールできずに不便であった。	検索システムの開発・販売会社と協議し、改善を検討します。
11		Mac や他 OS への対応も御願いたい。	システム導入時に検討しましたが、コストなどを検討した結果の苦渋の判断となっております。今後、その必要性がさらに増加する場合には、再度検討したいと思います。
12		出版後 1 年経過しないと閲覧が出来ないのは不便である。	書籍販売との関係によって、ある程度は限界があります。早急に必要の方は購入をお勧めします。

13	他の学協会も巻き込んだ形でのデータベース化を図ってはどうでしょうか。	他の学協会との協議は実施しておりませんが、国立情報学研究所へのリンクなどについては、検討中です。
14	図書の販売についてはアマゾンなどのプロと連携して購買拡大を進めてはどうか。	販売については、事業部との連携になると思われますが、現在は丸善に委託しているそうです。
15	学会運営という視点から、PDF 化にして閲覧が可能となることにより、学会で作成する本が売れなくなり資金面での問題が生じるのではないか。	発行から一定の期間はPDF 化をしない方針です。また、会員以外へのPDF ファイルの閲覧は制限しております。
16	本のありがたさは出力物が人間の目にふれる偉大さであり、あくまでも実際の文献を購入したり貸し出すことにあると思う。電子図書室は実像と図書室のあくまでも入り口であると思う。	御意見は理解できますが、一方で WEB 化の風潮や遠隔地会員の利便性の向上も大きな課題であります。御理解を頂きたいと存じます。